

第77回

日米学生会議

Upholding Dignity: Bilateral harmony through respectful dialogue

尊厳を守る ～敬意ある対話が紡ぐ日米の調和～

Japan-America Student Conference
第76回日米学生会議
Visions, perspectives reflected from the past - together understanding the future
回顧～共に理解し、明日へと還元する～

主催：一般財団法人国際教育振興会

後援：文部科学省、米国大使館、一般社団法人日米協会、他

賛助(予定)：公益財団法人三菱UFJ国際財団、公益財団法人
双日国際交流財団、尚友倶楽部、他

日米学生会議とは

日米学生会議(Japan-America Student Conference-JASC)は、日本初の国際的學生交流プログラムです。米国の対日感情の改善、日米相互の信頼回復を目指し、「世界の平和は太平洋にあり、太平洋の平和は日米間の平和にある。その一翼を学生も担うべきである」という理念の下、1934年に発足しました。以来日米学生会議は、日米関係を考察するとともに、両国をめぐる様々な問題について、多角的に検討してきました。しかし近年のグローバル化の進展と新興国の発展を経て、今日ではより広く多様な問題を日米の観点のみならずグローバルな視点から考えることが求められています。



宮沢喜一
第78代内閣総理大臣



ヘンリー・キッシンジャー
元アメリカ合衆国国務長官

第77回会議概要

第76回日米学生会議の参加者から日本側8名、米国側8名が選出されて発足した実行委員会が、日本側主催団体の一般財団法人国際教育振興会、米国側のInternational Student Conferences (ISC), Inc.の支援の下、本会議開催のための準備活動を2024年9月から開始し、2025年8月の本会議まで企画・運営を行います。

第77回日米学生会議実行委員会は、2024年10月～2025年1月に参加者募集のための広報活動を行い、1月～2月に選考を行います。3月に参加者が決定した後、各参加者は4月～7月の期間に、自主的に講演会や勉強会、合宿などを通して本会議に向けた事前準備活動を実施いたします。

本会議では、日本側36名、米国側36名、合計72名の学生が約3週間に亘って寝食を共にしながら、それぞれのテーマに関する議論を深めます。本会議の主な活動として、計40時間にも及ぶ分科会議論、社会の第一線でご活躍中の方のご講演やパネルディスカッション、参加者が自ら提案した議題について議論するスペシャルトピック・ディスカッション、目に見えるものから目に見えないものにまで及ぶ文化体験、そして議論した成果を社会に発信するファイナル・フォーラムなどがあります。

分科会とは

- ・当会議において活動の中心となるグループ
- ・参加者4人+実行委員1人あるいは2人で構成される。
- ・本会議まで週1～2回、オンラインでミーティングを開きディスカッションを行う。

*フィールドトリップ

活動の中で分科会の研究テーマについての理解を深めるために政府機関・国際機関・企業・大学・NGO・NPO・研究所などへ訪問研修を実施することが可能である。

*ディスカッション

参加者はそれぞれの興味に基づく分科会を選択し、議論をしていく中で知識を深める。

【第77回 分科会一覧】 詳細は日米学生会議公式HPをご覧ください

- (1) 戦略の時代の経営・経済
- (2) 食と文化・社会
- (3) 環境イノベーションと事業創造
- (4) 科学技術と倫理
- (5) コミュニケーションのあり方
- (6) デザインとメディアにおける美学
- (7) インド太平洋地域における国際政治



活動概要

▶事前活動

分科会活動/春合宿/防衛大学校研修/自主研修/フィールドトリップ

1.分科会活動

本会議まで週1~2回(頻度は分科会によって異なります)、オンラインでミーティングを開きディスカッションを行います。

2.春合宿(5/4-5/6)【参加必須プログラム】

参加者は、4月からオンライン上でミーティングを行い、5月初旬の2泊3日の春合宿にて初めて対面で顔合わせをします。春合宿では、過去の参加者と語り合い日米学生会議の歴史を学びます。加えて夏の本会議に向けて議論を行い、日米学生会議の基礎を学びます。

3.安全保障研修

日本の将来の平和と安全を担う自衛官の幹部候補生養成を目的とする防衛大学校を訪問します。日米関係を考える上で極めて重要となる「安全保障」についてより詳しく学ぶために同学校の学生と対話の機会を持ちます。学生という共通点はあれども、厳しい訓練や規律の中で学ぶ同学校学生の姿に刺激を受けます。

4.自主研修

夏の本会議に向けて、社会問題への理解を深めることを目的に自主研修を行います。第76回では韓国を訪れ、韓国が太平洋間の平和において果たす役割について学びました。

第77回ではフィリピンを訪れ、太平洋・南シナ海の平和について経済・軍事・外交の観点から果たす役割について知見を深めていく予定です。

▶本会議【参加必須プログラム】

本会議では、日米の学生が約三週間に亘って寝食を共にしながら、日本の都市を巡り、見識を深めつつ議論を深めます。分科会におけるディスカッション・フィールドトリップ・文化体験・講演会・現地学生との交流を行い、各サイトでのフォーラムを通じ日米学生会議における学びの集大成とします。参加必須のプログラムです。

2025年7月31日~8月21日

京都・大阪→熊本→東京

参加費：18万円(公式プログラムの移動費、宿泊費、食費を含む)

選考概要

募集人数：28名

申込期間：2024年12月7日(土)~2025年1月19日(日)23:59

選考方法：

〈第一次選考試験〉

書類選考(参加申込書、小論文課題、分科会調査、提出課題)

選考料：3,500円

※上記全てGoogleフォームにて日本語で実施。

(第二次選考試験)

集団討議(日本語)、リフレクションエッセイ(日本語)、リスニング問題(音源:英語)

教養試験(選択問題)(日本語)、個人面接(日本語・英語)

選考料：7,000円

※2025年2月19日(水)~2月23日(日)においてオンラインにて実施(約2時間)。

ご案内

「第76回会議報告会及び第77回会議説明会」を対面開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

【日付】12月7日(土) 13:00-17:00

【場所】法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎6F 薩埵ホール(オンライン参加も可)



お申込みはこちら

FAQ

Q. 英語力はどれほど必要なのでしょうか

A. 自分の意見を伝える力、相手の意見を理解する力は最低限必要となります。しかし、会話のスピードを落として欲しい、簡単に言い換えて欲しいといったハンドサインのシステムが整っており、英語に自信がない参加者でも安心して議論に参加できます。

Q. 男女比はどの程度でしょうか

A. 第76回会議では、おおよそ2:3でした。ただし、年によって変動がございます。なお、選考の段階では男女比を考慮せずに合否を決定いたします。

Q. 参加費以外にどれくらいの費用がかかるのでしょうか

A. 毎年多少前後いたしますが、参加必須プログラムに関しましては、原則追加費用はかかりません。また、非公式プログラムにつきましては、自己負担が発生いたしますが、予算が組まれ補助が出る可能性があります。さらに、居住地から開催地までの距離が一定以上離れている場合に限り、交通費の半額が補助されます。



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram



公式HP